

特定個人情報保護評価書(基礎項目評価書)

評価書番号	評価書名
18	高等学校等奨学のための給付金の支給に関する事務(私立高等学校) 基礎項目評価書

個人のプライバシー等の権利利益の保護の宣言

鹿児島県は、高等学校等奨学のための給付金の支給に関する事務における特定個人情報ファイルの取扱いに当たり、特定個人情報ファイルの取扱いが個人のプライバシー等の権利利益に影響を及ぼしかねないことを認識し、特定個人情報の漏えいその他の事態を発生させるリスクを軽減させるために適切な措置を講じ、もって個人のプライバシー等の権利利益の保護に取り組むことを宣言する。

特記事項

評価実施機関名

鹿児島県知事

公表日

令和8年7月30日

I 関連情報

1. 特定個人情報ファイルを取り扱う事務

①事務の名称	高等学校等奨学のための給付金の支給に関する事務(私立高等学校)
②事務の概要	「高等学校等修学支援事業費補助金(奨学のための給付金)交付要綱(平成26年4月1日文科科学大臣決定)」及び「高等学校等修学支援事業費補助金(専攻科の生徒への奨学のための給付金)交付要綱(令和2年4月1日文科科学大臣決定)」に基づき実施する次の事務 家庭の状況に関わらず、生徒が安心して教育を受けられるよう、高校生等がいる低所得世帯に対して、授業料以外の教育費負担の軽減を図るため、奨学のための給付金を支給する。 奨学のための給付金は、高校生等がいる生活保護受給世帯又は道府県民税所得割額及び市町村民税所得割額が非課税である世帯を支給対象としていることから、保護者等の生活保護受給の有無及び課税証明書等で該当するかどうかを判断し、健康保険証や申請者からの扶養誓約書及び住民票等により、扶養している子どもの数(15歳(中学生を除く)以上23歳未満が対象)を確認した上で、支給可否及び支給額の決定を行う。
③システムの名称	奨学のための給付金管理台帳、統合宛名管理システム、中間サーバー

2. 特定個人情報ファイル名

奨学のための給付金の支給に関する特定個人情報照会ファイル

3. 個人番号の利用

法令上の根拠	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第9条第1項に規定する準法定事務及び準法定事務処理者を定める命令の表 第8項、第9項
--------	---

4. 情報提供ネットワークシステムによる情報連携

①実施の有無	[実施する] <選択肢> 1) 実施する 2) 実施しない 3) 未定
②法令上の根拠	番号法第19条第8号に基づく主務省令第2条の表169の項、170の項

5. 評価実施機関における担当部署

①部署	総務部学事法制課
②所属長の役職名	課長

6. 他の評価実施機関

--

7. 特定個人情報の開示・訂正・利用停止請求	
請求先	総務部学事法制課 郵便番号890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 電話番号 099-286-2146
8. 特定個人情報ファイルの取扱いに関する問合せ	
連絡先	総務部学事法制課 郵便番号890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 電話番号 099-286-2146
9. 規則第9条第2項の適用 []適用した	
適用した理由	

Ⅱ しきい値判断項目

1. 対象人数		
評価対象の事務の対象人数は何人か	[1,000人以上1万人未満]	<選択肢> 1) 1,000人未満(任意実施) 2) 1,000人以上1万人未満 3) 1万人以上10万人未満 4) 10万人以上30万人未満 5) 30万人以上
いつ時点の計数か	令和8年4月1日 時点	
2. 取扱者数		
特定個人情報ファイル取扱者数は500人以上か	[500人未満]	<選択肢> 1) 500人以上 2) 500人未満
いつ時点の計数か	令和8年4月1日 時点	
3. 重大事故		
過去1年以内に、評価実施機関において特定個人情報に関する重大事故が発生したか	[発生なし]	<選択肢> 1) 発生あり 2) 発生なし

Ⅲ しきい値判断結果

しきい値判断結果
基礎項目評価の実施が義務付けられる

IV リスク対策

1. 提出する特定個人情報保護評価書の種類		
[基礎項目評価書]		<選択肢> 1) 基礎項目評価書 2) 基礎項目評価書及び重点項目評価書 3) 基礎項目評価書及び全項目評価書 2)又は3)を選択した評価実施機関については、それぞれ重点項目評価書又は全項目評価書において、リスク対策の詳細が記載されている。
2. 特定個人情報の入手(情報提供ネットワークシステムを通じた入手を除く。)		
目的外の入手が行われるリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
3. 特定個人情報の使用		
目的を超えた紐付け、事務に必要な情報との紐付けが行われるリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
権限のない者(元職員、アクセス権限のない職員等)によって不正に使用されるリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
4. 特定個人情報ファイルの取扱いの委託		[O]委託しない
委託先における不正な使用等のリスクへの対策は十分か	[]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
5. 特定個人情報の提供・移転(委託や情報提供ネットワークシステムを通じた提供を除く。)		[O]提供・移転しない
不正な提供・移転が行われるリスクへの対策は十分か	[]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
6. 情報提供ネットワークシステムとの接続		[]接続しない(入手) [O]接続しない(提供)
目的外の入手が行われるリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
不正な提供が行われるリスクへの対策は十分か	[]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている

7. 特定個人情報の保管・消去		
特定個人情報の漏えい・滅失・毀損リスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
8. 人手を介在させる作業		
[] 人手を介在させる作業はない		
人為的ミスが発生するリスクへの対策は十分か	[十分である]	<選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている
判断の根拠	マイナンバー利用事務におけるマイナンバー登録事務に係る横断的なガイドラインに従い、マイナンバー登録や副本登録の際には、本人からのマイナンバー取得の徹底や、住基ネット照会を行う際には4情報又は住所を含む3情報による照会を行うこととしている。また、下記の局面で特定個人情報の取扱いに関して手作業が介在するが、いずれの局面においても複数人での確認を行うようにしており、人為的ミスが発生するリスクへの対策は十分であると考えられる。 ・申請書に記載された個人番号及び本人情報のデータベースへの入力 ・特定個人情報の記載がある申請書等(USBメモリを含む。)の保管	

9. 監査		
実施の有無	☐ 自己点検 ☐ 内部監査 ☐ 外部監査	
10. 従業員に対する教育・啓発		
従業員に対する教育・啓発	☐ 十分に行っている ☐ <選択肢> 1) 特に力を入れて行っている 2) 十分に行っている 3) 十分に行っていない	
11. 最も優先度が高いと考えられる対策 [] 全項目評価又は重点項目評価を実施する		
最も優先度が高いと考えられる対策	☐ 8) 特定個人情報の漏えい・滅失・毀損リスクへの対策 ☐ <選択肢> 1) 目的外の入手が行われるリスクへの対策 2) 目的を超えた紐付け、事務に必要な情報との紐付けが行われるリスクへの対策 3) 権限のない者によって不正に使用されるリスクへの対策 4) 委託先における不正な使用等のリスクへの対策 5) 不正な提供・移転が行われるリスクへの対策(委託や情報提供ネットワークシステムを通じた提供を除く。) 6) 情報提供ネットワークシステムを通じて目的外の入手が行われるリスクへの対策 7) 情報提供ネットワークシステムを通じて不正な提供が行われるリスクへの対策 8) 特定個人情報の漏えい・滅失・毀損リスクへの対策 9) 従業員に対する教育・啓発	
当該対策は十分か【再掲】	☐ 十分である ☐ <選択肢> 1) 特に力を入れている 2) 十分である 3) 課題が残されている	
判断の根拠	私立高等学校等奨学給付金事務における特定個人情報取扱規程(学事法制課)に則り、漏えい・滅失・毀損を防ぐための物理的安全管理措置、技術的安全管理措置等を講じている。 ・特定個人情報を含む書類等は、施錠できる書棚等に保管することを徹底している。	

変更箇所

変更日	項目	変更前の記載	変更後の記載	提出時期	提出時期に係る説明
令和1年6月24日	2 特定個人情報ファイル名	高等学校等就学支援金の支給に関する特定個人情報照会ファイル	奨学のための給付金の支給に関する特定個人情報照会ファイル	事後	指針第6の2(2)に基づく再実施に係る修正。(軽微な修正)
令和1年6月24日	1～4 情報提供ネットワークシステムによる情報連携 ②法律上の根拠	行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律施行条例(平成27年県条例第55号)第2条第1項 別表第1 1の項第2号	番号法第19条第8号に基づく特定個人情報の提供に関する規則(平成28年個人情報保護委員会規則第5号)	事後	指針第6の2(2)に基づく再実施に係る修正。(軽微な修正)
令和1年6月24日	1～7 特定個人情報の開示・訂正・利用停止請求	総務部学事法制課 〒890-8577 鹿児島県鹿児島市鴨池新町10-1 電話番号 099-286-2146	総務部学事法制課 郵便番号890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 電話番号 099-286-2146	事後	指針第6の2(2)に基づく再実施に係る修正。(軽微な修正)
令和1年6月24日	1～8 特定個人情報ファイルの取扱いに関する問合せ	総務部学事法制課 〒890-8577 鹿児島県鹿児島市鴨池新町10-1 電話番号 099-286-2146	総務部学事法制課 郵便番号890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 電話番号 099-286-2146	事後	指針第6の2(2)に基づく再実施に係る修正。(軽微な修正)
令和1年6月24日	Ⅱ-1 対象人数 Ⅱ-2 取扱者数	平成30年7月1日時点	平成31年4月1日時点	事後	指針第6の2(2)に基づく再実施に係る修正。(軽微な修正)
令和1年6月24日	Ⅳ リスク対策	項目なし	項目追加(様式の改正による)	事後	
令和2年5月25日	表紙評価書名	高等学校等奨学のための給付金の支給に関する事務(私立高等学校)に係る個人情報保護評価書(基礎項目評価)	高等学校等奨学のための給付金の支給に関する事務(私立高等学校) 基礎項目評価書	事後	定期見直しに係る修正。(軽微な修正)
令和2年5月25日	I ー1-①事務の名称	就学支援金法第3条第2項第3号に規定する保護者等に対する奨学のための給付金の支給に関する事務であって規則で定めるもの	高等学校等奨学のための給付金の支給に関する事務(私立高等学校)	事後	定期見直しに係る修正。(軽微な修正)
令和2年5月25日	Ⅱ-1 対象人数 Ⅱ-2 取扱者数	平成31年4月1日時点	令和2年4月1日時点	事後	定期見直しに係る修正。(軽微な修正)
令和3年5月25日	Ⅱ-1 対象人数 Ⅱ-2 取扱者数	令和2年4月1日時点	令和3年4月1日時点	事後	定期見直しに係る修正。(軽微な修正)
令和3年7月28日	1～4-②法律上の根拠	行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第19条第9号 番号法第19条第8号に基づく特定個人情報の提供に関する規則(平成28年個人情報保護委員会規則第5号)	行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第19条第9号 番号法第19条第9号に基づく特定個人情報の提供に関する規則(平成28年個人情報保護委員会規則第5号)	事後	令和3年9月1日に施行される番利用法の改正に伴う変更
令和4年6月2日	Ⅱ-1 対象人数 Ⅱ-2 取扱者数	令和3年4月1日時点	令和4年4月1日時点	事後	定期見直しに係る修正。(軽微な修正)
令和5年6月14日	Ⅱ-1 対象人数 Ⅱ-2 取扱者数	令和4年4月1日時点	令和5年4月1日時点	事後	定期見直しに係る修正。(軽微な修正)
令和6年6月27日	Ⅱ-1 対象人数 Ⅱ-2 取扱者数	令和5年4月1日時点	令和6年4月1日時点	事後	定期見直しに係る修正。(軽微な修正)
令和7年2月6日	1 特定個人情報ファイルを取り扱う事務 ②事務の概要	—	「高等学校等修学支援事業費補助金(奨学のための給付金)交付要綱(平成26年4月1日文科科学大臣決定)」及び「高等学校等修学支援事業費補助金(専攻科の生徒への奨学のための給付金)交付要綱(令和2年4月1日文科科学大臣決定)」に基づき実施する次の事務	事後	準法定事務への移行に伴う法令上の根拠の修正
令和7年2月6日	3 個人番号の利用	行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第9条第2項 行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律施行条例(平成27年県条例第55号)第2条第1項 別表第1 1の項第2号 行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律施行条例施行規則(平成27年県条例第43号)第3条第2項	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第9条第1項に規定する準法定事務及び準法定事務処理者を定める命令の表 第8項、第9項	事後	準法定事務への移行に伴う法令上の根拠の修正
令和7年2月6日	4 情報提供ネットワークシステムによる情報連携 ②法令上の根拠	行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第9条第9号 番号法第19条第9号に基づく特定個人情報の提供に関する規則(平成28年個人情報保護委員会規則第5号)	番号法第19条第8号に基づく主務省令第2条の表169の項、170の項	事後	準法定事務への移行に伴う法令上の根拠の修正
令和7年2月6日	Ⅳ-8 人手を介在させる作業	—	項目追加(様式の改正による)	事後	
令和7年2月6日	Ⅳ-11 最も優先度が高いと考えられる対策	—	項目追加(様式の改正による)	事後	
令和7年9月8日	Ⅱ-1 対象人数 Ⅱ-2 取扱者数	令和6年4月1日時点	令和7年4月1日時点	事後	再実施に係る修正。(軽微な修正)
令和7年10月31日	1～3 個人番号の利用	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第9条第1項に規定する準法定事務及び準法定事務処理者を定める命令の表 第8項、第9項 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第9条第2項 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律施行条例(平成27年県条例第55号)第2条第1項 別表第1 1の項第2号 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律施行条例施行規則(平成27年県条例第43号)第3条第2項	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第9条第1項に規定する準法定事務及び準法定事務処理者を定める命令の表 第8項、第9項	事後	準法定事務への移行に伴う法令上の根拠の修正
令和7年10月31日	1～4 情報提供ネットワークシステムによる情報連携②法令上の根拠	番号法第19条第8号に基づく主務省令第2条の表169の項、170の項 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第19条第9号 番号法第19条第9号に基づく特定個人情報の提供に関する規則(平成28年個人情報保護委員会規則第5号)	番号法第19条第8号に基づく主務省令第2条の表169の項、170の項	事後	準法定事務への移行に伴う法令上の根拠の修正
令和8年7月30日	Ⅱ-1 対象人数 Ⅱ-2 取扱者数	令和7年4月1日時点	令和8年4月1日時点	事後	定期見直しに係る修正。(軽微な修正)